

編集後記

毎年夏の恒例特集、ミュージアム。毎回、「こんなに魅力的なところがあるんだ!」とワクワクする。そして、一生かけてもすべてを回るのはムリで、まだまだ知らない館が山ほどあるのだろうかあと、ため息が出る。今年も残り6カ月、あといくつ行けるかな、どこに行こうかな。(松)
 ※残念だが、外国人に対する人権を配慮した労働環境や入国管理が実現される道は遠のいた。差別意識やエスノセントリズムが横たわっているように思わざるを得ない。でもさあ、海外に住む子供たちが自分の母国を「外国人を差別する恥ずかしい国」と思わなくてすむ国になろうよ。(然)
 ※終刊号を目前にして、性教育の特集をお送りすることとなった。編集部としてはひとつの挑戦であるが、企画自体は時代の要請ともいえよう。グローバルな視点を配し、様々な考え方を提供できたのではないかと思う。子どもの想像力は実に豊かだ。ご家庭で対話する際の一助となれば幸甚である。(鳥)

8月号「特集」の予定は…

- 日本の文化やことばの魅力と難しさ
- 受入校を取材して

2023年7月号 No.605

発行 2023年7月1日

発行人 綿引 宏行

編集人 鳥田 誠一

公益財団法人
 発行所 海外子女教育振興財団

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4
 愛宕東洋ビル6階

制作協力 Roots International

(株)東京美術

※無断での改変・再販を禁ず。

■ 投稿募集ほか ■

本誌への投稿や関連情報の提供を随時受けつけています。

お名前とご連絡先を明記のうえ、「月刊『海外子女教育』編集部」宛てとして、E-mail、FAX、郵便のいずれかでお送りください。

◎海外・帰国子女教育、国際教育関連の論文やエッセイ、研究レポート

◎海外・帰国子女教育、国際教育関係の研究発表会などの催しのご案内

◎連載「家族/クロスカルチャー」取材対象家族を募集しています。

海外生活にまつわるご家族のエピソードをお聞かせください。

◎「みんなの広場」タイトル文字、作文・詩・短歌・俳句、習字・イラストなど。

大人のかたの投稿（1200字以内）も大歓迎です。

※掲載・不掲載にかかわらず、作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

※掲載作品に関する著作権は本財団に帰属することとします。

※二重投稿はご遠慮ください。

※お知らせいただいた個人情報は、作品掲載以外の目的では利用しません。



❖かつて愛用していた原稿用紙とフィルムカメラ。いずれも使わなくなって久しい。この写真はスマホで撮り、文章はキーボードで打っている。特集2で書かれている通り、「自筆原稿」というものはなくなった。あ、そうだ！取材メモだけはいまでも紙に鉛筆で走り書きだ。(淳)

1都1道2府43県めぐり クイズ解答

- ①C ②D

本誌へのご意見・ご感想をお待ちしております。

海外子女教育振興財団 月刊『海外子女教育』編集部

●E-mail kikanshi@joes.or.jp

●TEL 03-4330-1350 / FAX 03-4330-1355

●URL <https://www.joes.or.jp>